

県民の皆様へ、

県の取組みを報告し、
皆様の要望を聞く



岩手県議会議員

神崎 浩之

県政報告

2022年・春

3月16日深夜、福島県沖地震 一関地方に大きな被害



中里市民センター



山目館ニュータウン



世帯の一端

【ご挨拶】

- 新型コロナウイルス感染症が3年目に入り、皆様には日常生活や仕事、学校、地域活動そして収入減といまだ厳しい生活を強いられており、心からお詫び申し上げます。
- 県議会では、コロナの感染防止を担当する「環境福祉委員会」の委員長として、PCR 検査体制、ワクチン接種体制、入院・療養施設の整備、自宅療養体制の整備を進めてきました。
- また自民党の県議として、政府（省庁）、自民党本部（政調会）へ岩手の課題解決を要望して

きました。

- 今はコロナに重ねて、ロシアの軍事侵攻に伴う世界経済の減速。エネルギー問題から、資材高騰、農産物の影響による食品への価格高騰への影響。さらに足元では、地震や大雪と、私達人間に様々な困難がのしかかってきています。
- 県民・行政・議会一丸となって、目の前の課題、先を見据えた課題の解決に踏み出してまいりましょう。

【ご報告】

商工建設委員会として

昨年9月、2年の折返しの議会から、岩手のコロナ感染防止に精一杯取り組んだ「環境福祉委員長」を退任し、次の2年は「疲弊している中小企業、商店の経済の復活だ!」と「商工建設委員会」へ委員会を移動しました。



商工建設委員会にて、中小企業の振興策、道路整備を

東日本大震災津波復興特別委員会：副委員長として



被災地で頑張る、洋野町の工場、大船渡のいちご農業施設

「監査委員」の任期を終え、「感謝状」をいただきました



全都道府県監査委員協議会から「感謝状」

【政府への要望】



一ノ関駅にて（3月）

① 【ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議】

岩手県議会は、ロシアに対し、軍による攻撃やウクライナの主権侵害や核兵器の使用を示唆する発言に断固として抗議するとともに、軍を即時無条件で撤退させるよう、強く求める。

② 【水田活用の直接支払交付金の見直し】

- (1) 農地の維持が困難となり、耕作放棄地の増加や離農者の増加などが懸念されることから、制度について丁寧な説明を行うとともに、生産現場の実態や課題を十分に踏まえること。
- (2) 水田を畑地化し、土地利用型の営農形態となっても生産者所得が減少する



農業者からの要望を

- ことなく意欲を持って取り組めるよう、速やかに新たな支援措置を講じること。
- (3) 牧草の取り扱い、見直しにより交付金が削減された場合、畜産農家は自給飼料確保のための水田の賃借料の負担が大きくなるため、営農計画などを十分に検討する期間を設けること。

新型コロナウイルス感染防止と経済対策

あらたな

【中小企業支援】～中小企業活性化パッケージで支援します～

政府はこのほど、年度をまたいだ中小企業の事業継続と、コロナ後を見据えた事業復活に向けた挑戦を支援します。

- ①「無利子無担保（融資）」の申請を、3月末から6月末まで延長します。
- ②「融資期間」を、15年から20年に延長します。
- ③収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援をいたします。
- ④「中小企業の事業再生等のガイドライン」を策定しました。



11月22日
経済産業省

【感染拡大防止】

- ①新型コロナ対応の「入院施設」「宿泊療養施設」を継続して確保します。
- ②ワクチン接種体制を整備します。
- ③学校、介護施設等の感染防止対策を支援します。



岩手におけるワクチン確保を要望する。
河野ワクチン担当大臣（2021年10月）

【個人・家族向け】

- ①新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金給付事業を延長します。
- ②生活福祉資金貸付事業を延長します。
- ③女性のためのつながりサポート事業を始めます。

【飲食・宿泊・地場企業支援】

(1) いわて旅応援プロジェクトの延長 （本事業は観光庁「地域観光事業支援」）

- ・いわて旅応援プロジェクトは、**令和4年4月28日（木）** 宿泊分まで延長になりました。（以後も検討中）
- ・事業期間の延長に伴って、**いわて応援クーポンの利用期間も延長**になります。

割引額のイメージ

宿泊旅行代金 及び 県内日帰り旅行の割引は **最大5,000円**（左下参照）
県内参画店舗で使えるいわて応援クーポンは **一律2,000円**

ひとりあたりの **宿泊代金** 及び **日帰り旅行代金** （大人・子ども同額）

- ① 税込10,000円以上 → **5,000円補助**
- ② 税込8,000円～9,999円 → **4,000円補助**
- ③ 税込6,000円～7,999円 → **3,000円補助**
- ④ 税込4,001円～5,999円 → **2,000円補助**



県内参画店舗で使える **いわて応援クーポン**



一律2,000円
（1,000円券2枚）

(2) いわて飲食店応援事業の復活 （5月からの予定）

新型コロナウイルスの影響を受けた飲食店・飲食業界・食物生産者を応援するキャンペーンです。
1冊 5,000円分の食事券を4,000円で購入できる！
（1,000円（25%）お得に！）



対象のお店は「**いわて飲食店安心認証店**」になります。

※Go To Eat 岩手の食応援プロジェクトの**対象店**は「**いわて飲食店安心認証店**」の登録が必要です。
いわて飲食店安心認証店への登録を早めに行ってください。

一般質問ダイジェスト

一般質問 (2月議会)

知事へ県政の運営について質し、提言を致しました。
(質問の詳細と知事からの答弁は、事務所に議事録を用意しております。
ご連絡をいただければ郵送いたします。)

1、新型コロナウイルス感染症への対応について

神崎 自宅療養者への対応について、いつから開始されたのか、その過程は適切だったのか？

県 自宅療養者への対応は「いわて健康観察サポートセンター」を設置し健康観察や相談、食料品提供等を行っており、症状が悪化した場合は、訪問や電話等によるオンライン診療を行った上で入院調整等を行っている。

神崎 新型コロナの影響を受け厳しい経営を強いられている小規模事業者支援は？

県 新型コロナウイルス感染症対応資金、いわゆるゼロゼロ融資は多くの事業者利用されている。しかしながら、今後借入金の返済に支障をきたすことも心配される。引き続き、金融機関や商工指導団体と連携して、据置期間の延長を含めた条件変更等への柔軟な対応を図っていく。

2、デジタルトランスフォーメーションの推進について

神崎 行政DXの推進に「民間有識者」を入れた「庁内推進チーム」の編成と今後の戦略は？

知事 「岩手県DX推進本部」を設置し、最高情報統括責任者CIOに副知事を任命し、補佐する外部人材をCIO補佐官として任用する。外部の専門人材や有識者を「DX推進コーディネーター」として設置しDXを強力に推進する体制を構築する。



軽井沢町テレワーク事業



群馬県庁DX視察

3、教育の充実について

神崎 コロナ禍でのオンライン授業は？

県 学級・学年閉鎖等が長期化する場合に、オンラインでの指導や課題の送受信等を実施している。整備された端末を自宅に持ち帰ってオンライン授業を実施した事例もある。



長野県、坂城高等学校のデジタル教育



4、県立病院の課題について

神崎 県立病院における新型コロナウイルス感染症への対応について

神崎 県立病院における医師の働き方改革への対応状況は？

県 令和6年4月から時間外労働の上限、連続した勤務時間の制限、勤務と勤務の間に休息時間を求められることから、救急又は外来診療体制への影響が考えらる。医師確保に取り組み、タスクシフトなど総合的な対策に取り組み進めている。



千厩病院の感染症対策・医療体制

5、知事の県政運営と政治姿勢について

神崎 知事の選挙へのスタンスは？

知事 先の衆議院議員選挙においては、各政党や個人が選挙の準備などを進めるにあたり相談に応じたり意見を述べたりしたことがありますが、街頭演説や個人演説会への参加などの選挙活動は行っていないところであります。

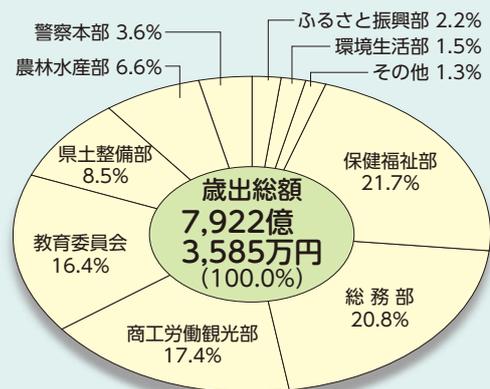
神崎 政務秘書問題について？

知事 政務秘書については、特別職及び一般職の別に関わらずすべての公務員が守らなければならない法令に従う義務や信用失墜行為の禁止などのほかには、特に制限はないところであります。私の政治活動がさらに発展する可能性もあるとすれば、政務秘書にもより大きな仕事求められるようになっていく可能性もあります。

岩手県 令和4年度予算が成立

総額 7,922億円
[182億円 (2.3%) 減少]

- 新型コロナ対策 966億円
 - 震災対応分 477億円 [190億円 (28.5%減少)]
 - 県税収入 個人県民税、法人事業税の増などにより 1,307億円 [91億円増加]
- 地方交付税11億円減少、臨時財政対策債252億円大幅減



主要地方道 一関北上線 長島 地域連携道路整備事業

◆ 10年の活動で、やっと着手 ◆

長年の悲願でありました「長島バイパス」が着工されます。一関から北上へ、北上川の東側を国道4号を補完する緊急輸送道路ですが、長島の山王地内（通称七曲り）は小学校や野球場・体育館が立地。しかしながら幅員狭小、カーブやアップダウンが多く、事故も多発していました。

この度、延長2キロを事業費17億円、令和11年の開通とし路線測量、道路詳細設計をはじめました。



バイパスを通します



幅員狭小、線形不良の解消により、安全で円滑な交通の確保などが期待されています。

写真による県政レポート



「トンガ海底火山」による津波被害（牡蠣、ほたて）調査
陸前高田市広田湾漁協、大船渡市大船渡市漁協。2月2日



「開業助産師さん」と意見交換
医療の中でも特に「産科」が岩手の医療の課題。助産師さんの活用策を探る。予算委員会で取り上げる。



「フードバンク事業」
「あおぞら会」ボランティアのご厚意を、会長として社会福祉協議会へ届けました。夏・冬の長期休み前に寄付を募っております。



「真滝郵便局」移転新築
老朽化と住民の利便性向上のため国道284号水口地区に移転新築。場所の選定時間関わらせていただきました。



「3月11日追悼夢あかり一関」
コロナ禍の中、ささやかですが10回目、今年も内陸一関から被災地へ手を合わせる事ができました。



「鈴木 財務大臣へ要望」財務省・盛岡市内
①11月22日は財務省大臣室にて
②3月19日は盛岡市内にて市長と議長から要望を



「省庁要望」岩手県の難題解決のため11月22日上京しました。文科省のILCをはじめ、市町村からの要望をまとめ。

～おかげさまで10年～

12月議会にて「県議会在職10年表彰」を頂きました。皆様に支えられ微力ではありますが議員活動を努めさせていただきました。

東日本大震災の年から県議会議員としてスタートしました。人口減少対策、新型コロナウイルス対策と、これからも精進して参ります。



ご意見・ご要望をお寄せ下さい。【連絡先】神崎浩之事務所 岩手県一関市銅谷町3-21 TEL:0191-31-6565

神崎浩之 プロフィール

Hiroyuki Kanzaki

岩手県議会議員 **神崎浩之** (1961年4月16日生)

◆岩手県立一関第一高等学校 普通科卒業 ◆文教大学 人間科学部 人間科学科 卒業

◆一関市議会議員 (3期) ◆岩手県議会議員 (3期目) ◆自由民主党岩手県支部連合会 組織運動本部長 商工建設委員会 東日本大震災津波復興特別委員会 (副委員長) デジタル社会・DX推進調査特別委員会

<http://www.kanzakijimusho.com/> ブログ・フェイスブック・ツイッターにて情報発信中!!

岸田総理が誕生し12日後の10月16日に一ノ関駅にて。3月11日に2回目一ノ関駅にて岩手の課題を▶

